

連作絵本 **想像**という現実~7

異常者への手紙

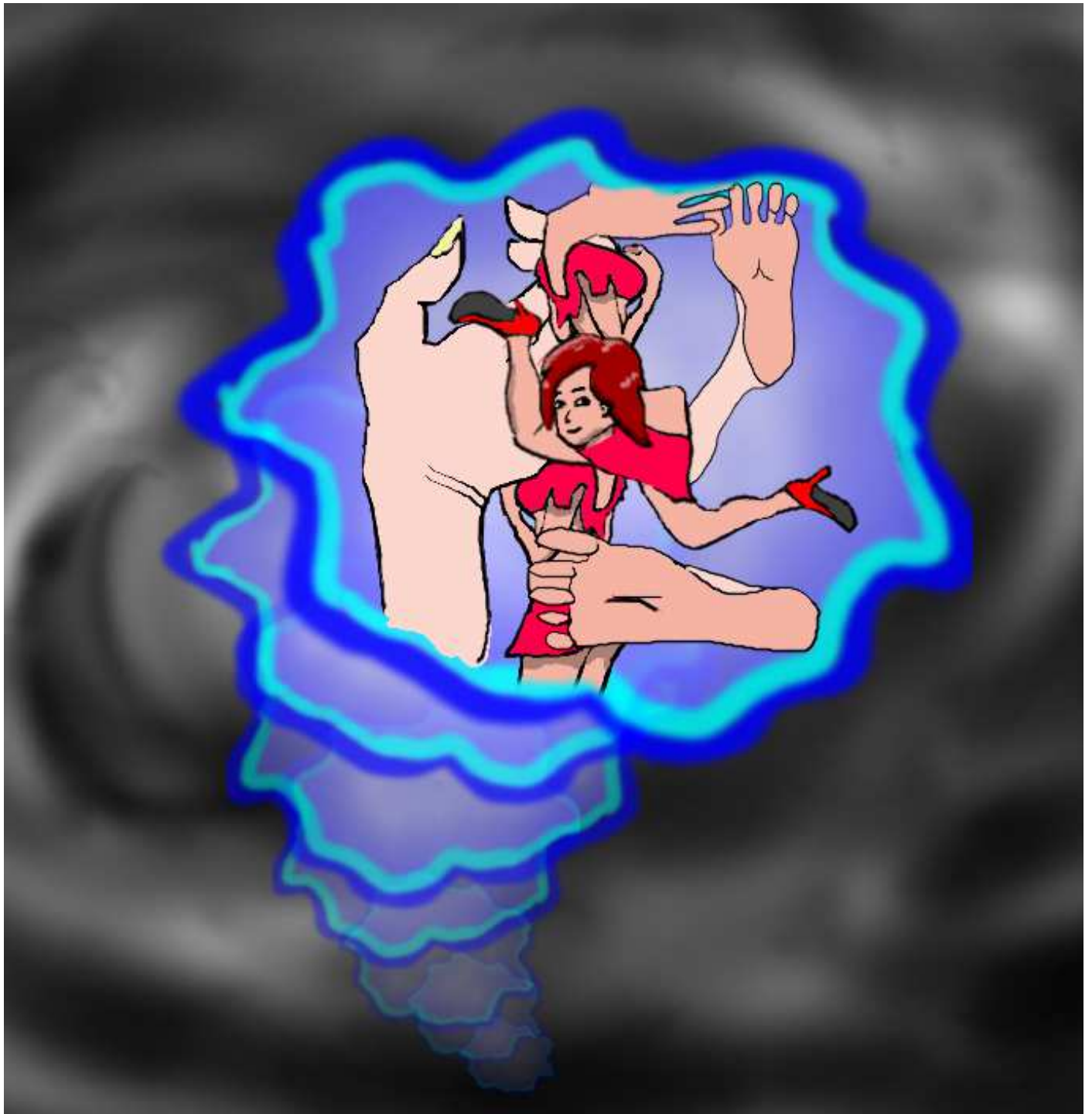
一病的なSM、快樂殺人など
異常性欲に取り付かれた方へー



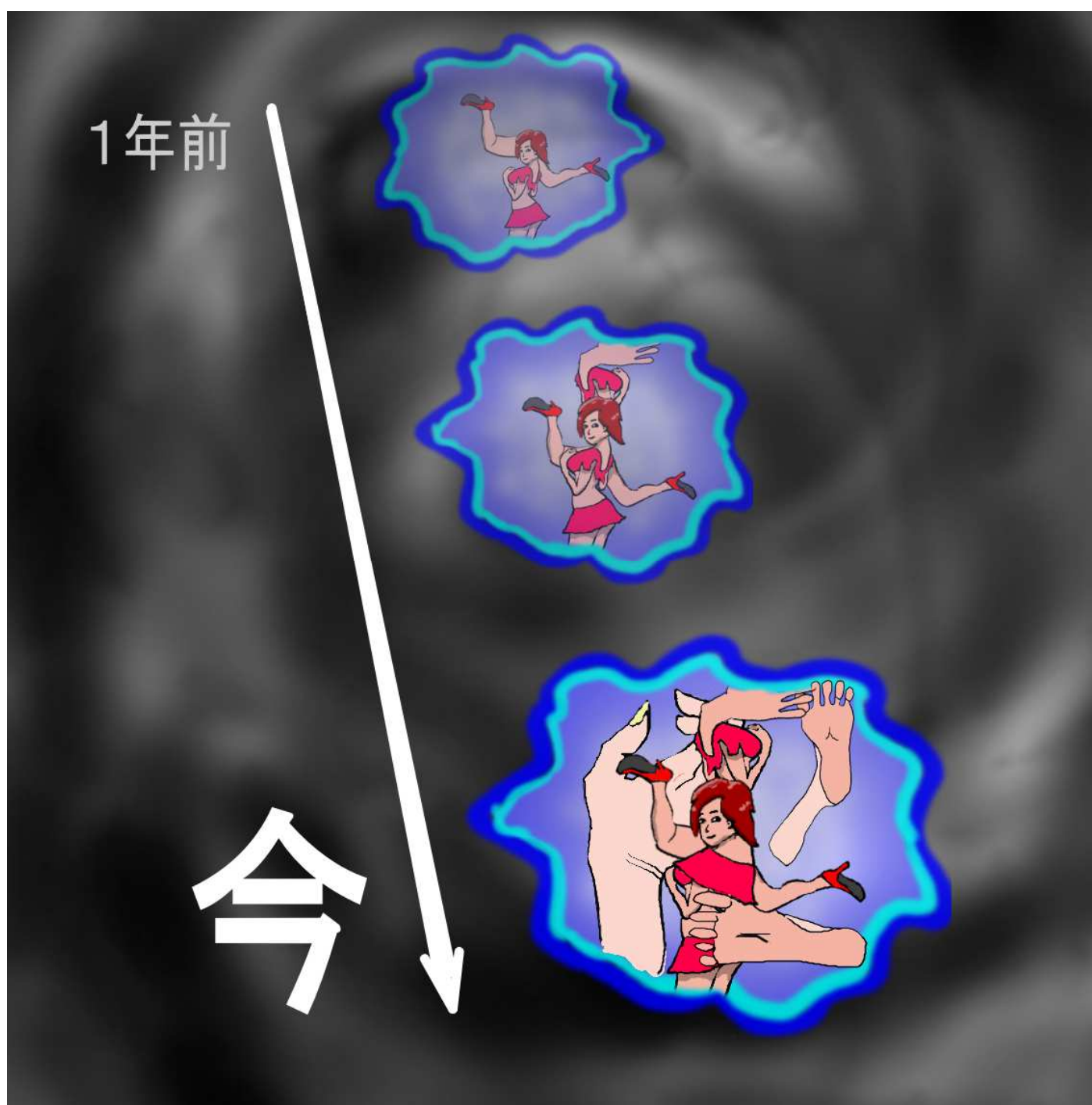
東郷 潤

ねえ、そこの君。

一人で、過激な妄想を膨らませている
の？



一つ、当ててみせようか。最近、君がお気に入りの妄想は、1年前のものよりも過激なはずだよ。・・・それに、現実感も増しているね。



そして君は、妄想が日々成長していき、君の現実を侵食していくことに、とまどいを感じ絶望しかかっている。僕は普通じゃないって。…君はもう精神病院には、行ってみたかい？ それとも君はもう抵抗することを諦めて、「俺は人間じゃない。悪魔だ」って、信じつつあるのかな？



では改めて聞くけれど、君の妄想がより過激に、そして、より現実的になる一方で、本物の現実がどんどん希薄になってきたのは、なぜだと思う？ 何が現実で何が妄想か、君の混乱は増すばかりだ。



・・・そう、そんな風に、君は思ってるんだ。でもね、君の妄想が過激に／現実的になって、その分、本物の現実が希薄になるのには、ちゃんとした理由があるんだよ。もし君に興味があるなら、それを教えてあげる。

・・・でも、そのためには君の協力が必要。ちょっと協力してくれるかい？

協力して頂ける方だけ、次頁へお進みください。

協力を約束してくれて、ありがとう。

じゃ、最初に、君の妄想が過激になる理由を教えよう。 そのためにお願いしたいのは、君のリミットを外すこと。一切の理性を捨てること。

…そして、君に思いつく限りの、過激で邪悪な、君が一番興奮する妄想を作り出して欲しい。

妄想を実行しろ、と言ってるんじゃないよ。あくまでもこれは、想像だけさ。

どうせただの想像だからね、遠慮することなんかない。実行できる／出来ないとか、道徳とか、理性とか、そんなものは全部捨てちまって、もっとも過激で邪悪な妄想を作って欲しい。…さあ、思いっきり過激な想像、君が一番、興奮する、究極の妄想だよ。

出来たかい？



…どうやら、君の究極の妄想、完成したみたいだね。それじゃ、今、君が作り上げた妄想を、何度も何度も繰り返し想像して、心ゆくまで楽しんで欲しい。

期間は1週間。 1つ、お願いしておきたいのは、君が楽しむのは、あくまでも同じ妄想だということ。一切の細部をも変えないで欲しい。

月

火

水



木

金

土

日



それじゃ、1週間後にお会いしましょう。

… 1 週間、同じ妄想を続けてくれたね？
ありがとう。ではここでまた、君の心を当ててみせよう。

●君は、この 1 週間の中に、もっと興奮する妄想を思いついた。

当たったね。それじゃもう一つ、当ててみせるよ。

●今の君は、1 週間続けたその妄想で、もう、それほど興奮しない。

どう？ これも凶星だったでしょう？

さあ、ここで 1 週間前のことを思い出して欲しい。

君が作った妄想は、最も過激で邪悪なもの
だったよね。その妄想に今、君は興奮しな
い。

—それは過激さや邪悪さが足りないから
じゃないよ。

じゃ、何が原因だと思う？



答えは簡単さ。君はね、**飽きちゃったんだよ。**

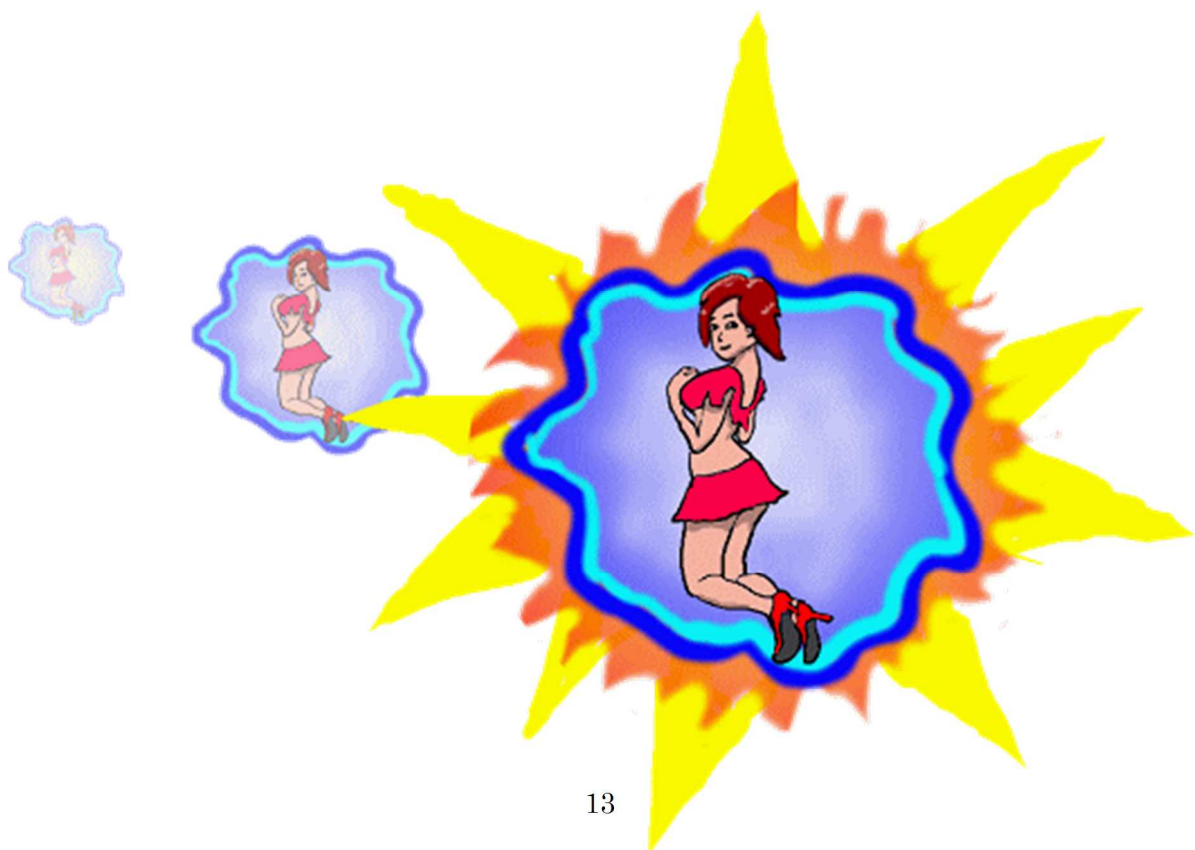


どんなに面白い漫画だって、1週間、同じものを読み続けたら飽きちゃうだろ？ 妄想だって、それと全く同じことさ。…少なくともその点に関しては、君はごく普通みたいだね。そしてこれが、妄想が過激化する理由でもある。

—どう？ 意外に簡単だったろ？

次は、「妄想」がより現実的になる一方で、「現実」が日々、希薄になっていく理由だよ。君の妄想と現実がグチャグチャになって、何がなにやら、分からなくなってきた理由さ。

それはね、妄想が現実的でなければ、困るからさ！！



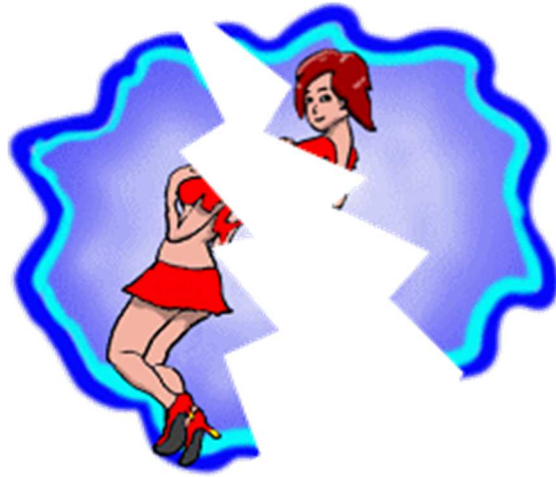
いいかい、妄想は君の娯楽、妄想は君の癒し、妄想は君の友人、妄想は君の恋人、妄想は君の愛！ その妄想が現実的じゃなかったら、空しいだろう！？ 耐えられないよね！？

そもそも君は現実社会の、残酷・冷たさ・暗黒から抜け出したいくて、愛しの妄想を作ったんだ。 だけど君の周りの現実には、非情にも君の妄想とは無関係に動く。 どれほど君の妄想が大事なものなのか、「現実の人間」はさっぱり分かってくれない。

それどころか、妄想は妄想に過ぎない
って、いつも君に思い知らせようとする。
る。



つまり、現実**は**妄想の敵！　そういう
現実を君が認めてしまったら、君の大
好きな妄想が、せっかく育てた恋人が、
たった一人の大切な、**大切な恋人が**、
壊れちゃうんだ！！



だから、君は愛する妄想／恋人のために、現実を否定する。そして恋人の現実感を高めようと、恋人に命がけで尽くすんだ。むろん、君が否定するたびに、現実には、現実感を失う。そして、妄想はその分、現実感を高めていく・・・。

わかるかい？ 妄想がより現実的に、現実がより希薄になっていくのは、君がやっていることなんだよ！

**俺を愛してない
なんて嘘だ！**



**本当は
僕を怒らせて殺された
がっているだけなんだ！！**

ところで君はもう、自分の妄想を、少しずつ現実世界で実行し始めたのかい？　・・・そう、君にとって、妄想の彼女は現実に存在している。そしていつも甘く、君にささやき続けている。

愛しているわ。
あなたになら、
殺されてもいいの



それじゃここで、もう1つ、当ててみせよう。

君の妄想を現実に実行しても、本当に興奮したのは**一瞬だけ**。そして結局、今も君は**愛に乾いている**。

俺、何やってるんだろ？

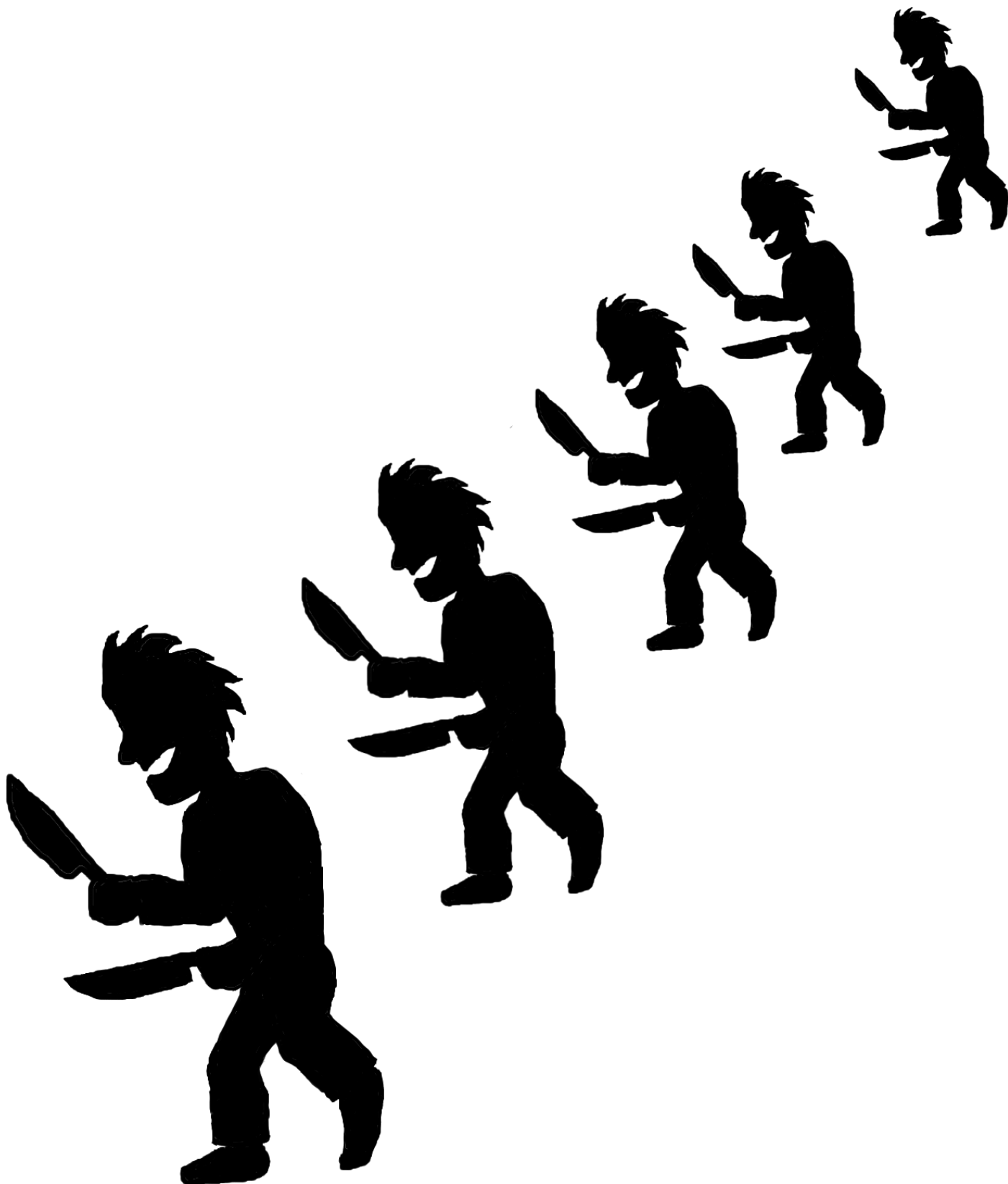


どう、これも凶星だったろ？

妄想を現実に実行してみて、すぐに何かが違うと君は思った。もちろん、すごく興奮する瞬間はあったさ。でも、そのあと、すぐにシラケテしまった。何か**が狂ってしまった**。

そして、君は、今まで以上の空しさ／味
気なさ／白々しさを感じてしまったね。
もしかすると、今度こそ、うまくやるっ
て、君はそう思っているかい？

あの時は、ちょっと失敗した。次やると
きこそは、最高の快楽を得られるはず
だって。そして、君は今度こそと次の成
功を夢見て、何回も君の妄想を実行し
続けるかもしれない。今度こそ、シラ
ケないでやる。今度こそ、最後まで興奮
する。今度こそ、最高の快楽を得る。今
度こそ、うまく行く。



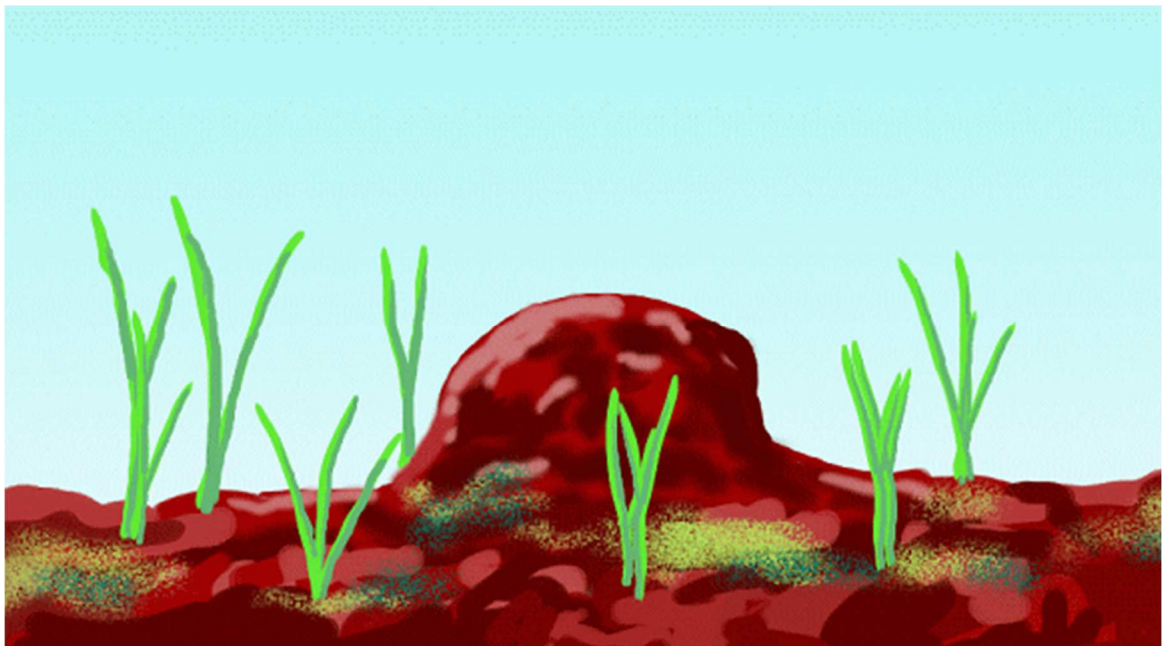
でもね、残念ながら、君は永遠にうまく
やれない…

だって彼（女）が
君に殺されたがって
いるなんて（〇〇されたがっ
ているなんて）
やっぱり君の、
ただの想像だもの！



そこの暗さ、分かるかい？　・・・君が
今、いる場所のことだよ。

絶対的な孤独。ひりつくような愛への
飢え。そこにいるのは、発狂するほど辛
い。そこは地獄だ。だから君は、脱出し
ようと必死になって、もがいている・・・



でもね、それじゃ出れないよ。

・・・君は出口に向かってないもの。

出口、見つけたいだろ？ ……ならば、
出口の見つけ方も教えてあげる。これ
が君に贈る僕の最後の話だから、真剣
に聞いて欲しい。 ……さあ、君が愛
する妄想、まるで太陽のように輝いて
いるだろ？ 君は長い年月、妄想を愛
し続け、彼女を輝かすために、本当に必
死でがんばって来たものね。



でもね、太陽の前で星は見えない。
分かるだろ？

もうちょっと暗くしてくれないと、本物の出口は見えないよ。 だから、

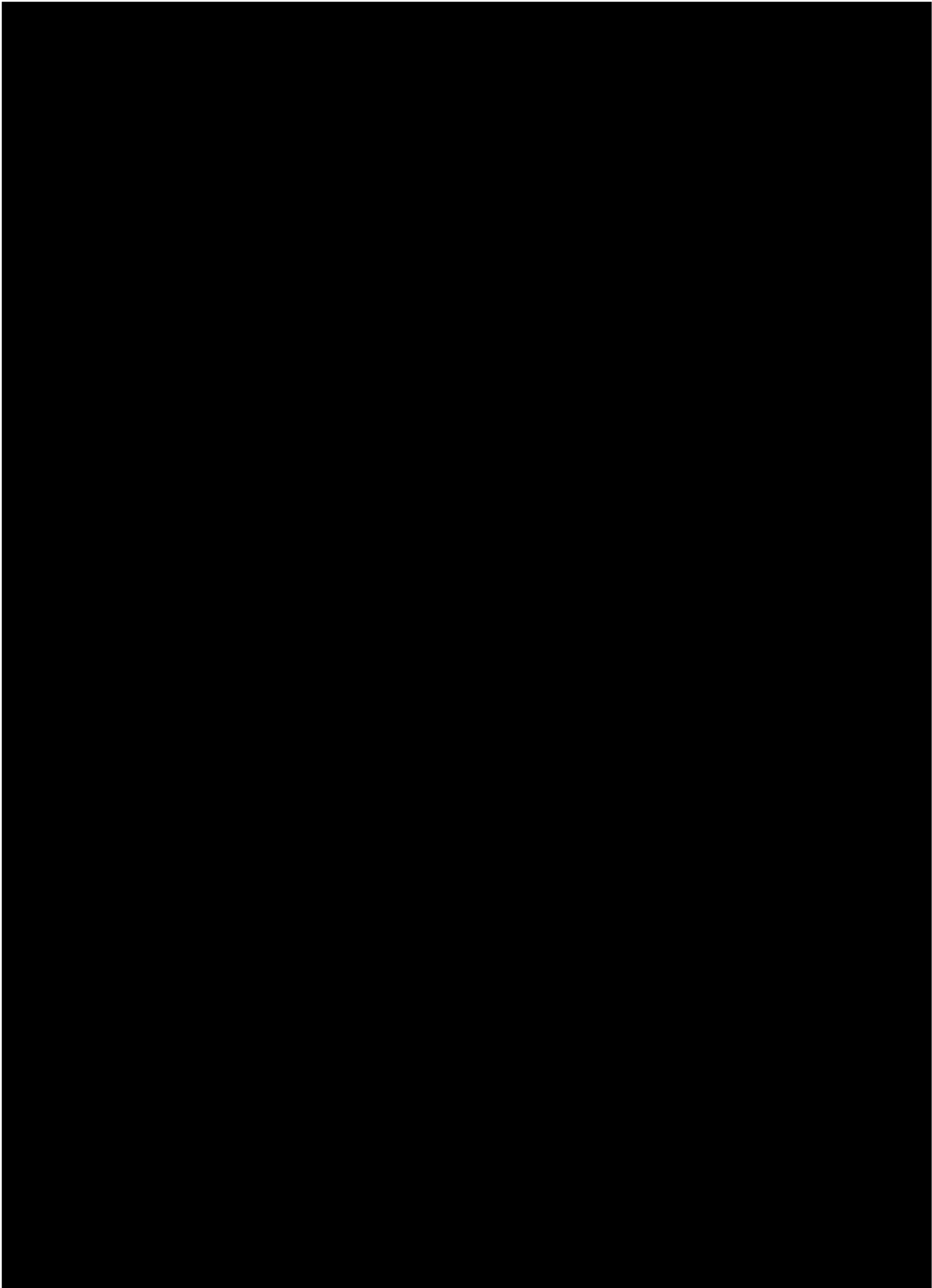
暗黒を見つめて！

**圧倒的な孤独に、
泣き叫んで！**

**ひりつく愛の渇きに、
絶叫して！**







そしたら
出口
見えて
くるから！



あとがき ー絵本「異常者への手紙」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010